ワイヤレスアクセスポイント(WAP)のポート設定

目的

ポート設定は、データの送信およびフロー制御の方向を設定します。ワイヤレスアクセスポイント(WAP)では、ポート設定を手動または自動ネゴシエーションに設定できます。ネットワークのトラブルシューティングが必要な場合は、手動設定が必要になることがあります。この記事では、WAPの手動および自動ネゴシエーション設定オプションについて説明します。

このドキュメントの目的は、WAPでポートを設定する方法を示すことです。また、ローカルエリアネットワーク(LAN)ポートの現在の動作ステータスとリンク特性を調べる方法についても説明します。

該当するデバイス

- WAP121
- WAP131
- WAP150
- WAP321
- WAP371
- WAP551
- WAP561

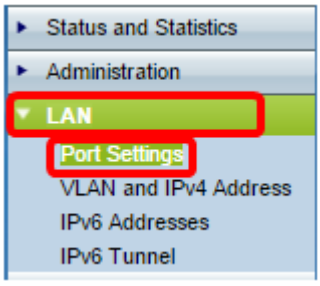
[Software Version]

- 1.0.6.5 - WAP121、WAP321
- 1.0.2.8 - WAP131
- 1.0.1.7 - WAP150
- 1.3.0.3 - WAP371
- 1.2.1.3 - WAP551、WAP561

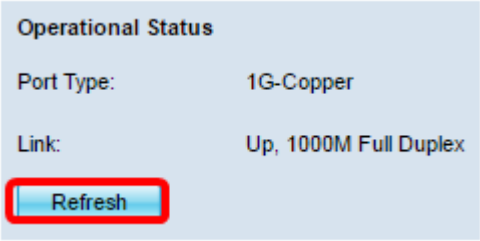
WAPのポート設定

注：次の図は、WAP551から取得したものです。

ステップ1：アクセスポイントのWebベースユーティリティにログインし、[**LAN**] > [**Port Settings**]を選択します。

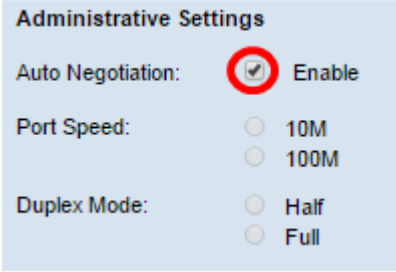


ステップ2: (オプション) [Operational Status]領域で[**Refresh**]ボタンをクリックして設定を更新し、現在のステータスの変更を確認します。このエリアには、現在のリンク特性とポートのタイプが表示されます。



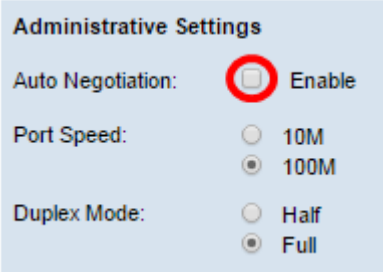
ステップ3: (オプション) ポート設定をオートネゴシエーションに設定する場合は、[管理設定]領域で[オートネゴシエーションの有効化]チェックボックスをオンにします。これにより、ポート自体が接続されたデバイスとネゴシエートし、使用可能な最速のリンク速度とデュプレックスモードを設定できるようになります。この機能はデフォルトで有効になっています。この手順を実行した場合は、ステップ8に進みます。

注：[Enable]チェックボックスをオンにすると、[Port Speed]と[Duplex Mode]の設定が自動的にグレー表示されます。



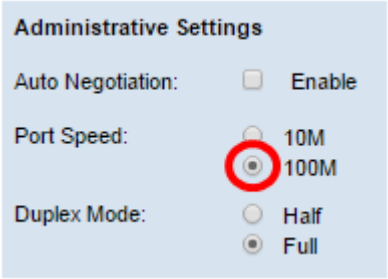
注：自動ネゴシエーションは、接続されたデバイスも自動ネゴシエーションに設定されている場合に有効です。

ステップ4: (オプション) ポートの設定を手動で行う場合は、[自動ネゴシエーションを有効にする]チェ**ックボック**スをオフにします。



ステップ5: (オプション) ラジオボタンをクリックして、目的のポート速度を設定します。選択した速度は、ネットワーク上の接続デバイスで設定されたポート速度と一致する必要があります。一致しない場合、パケットがドロップされます。次のオプションがあります。

- 10M：ポート速度を10 Mbpsに設定します。
- 100M：ポート速度を100 Mbpsに設定します。

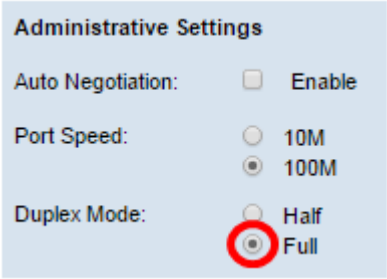


注：この例では、100Mが選択されています。

ステップ6: (オプション) オプションボタンをクリックして、目的のデュプレックスモードを設定します。ネットワークが正常に動作するためには、選択した送信モードが接続デバイスと一致している必要があります。

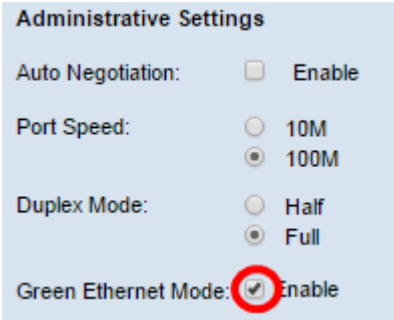
使用可能なオプションは次のように定義されます。

- Half：任意の時点で1方向へのデータ送信を制限します。
- Full：この接続により、デバイスと接続デバイスの両方が同時に送信できるようになります。



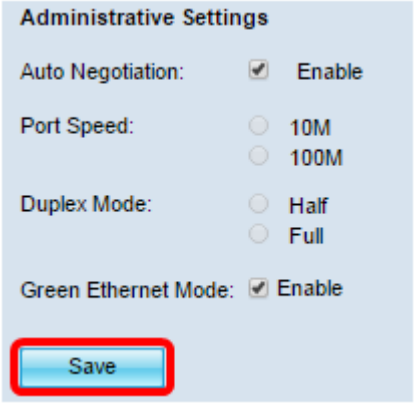
注：この例では、[Full]が選択されています。

ステップ7: (オプション) Green Ethernet Modeの**Enable**チェックボックスをオンにします。 このモードは、リンクパートナーからの信号が存在しない場合にチップの電力を削減する自動電源ダウンモードです。ポートでオートネゴシエーションが有効か無効かにかかわらず、グリーンイーサネットモードが動作します。



注：緑色のイーサネットモードの使用は、ご使用のWAPの正確なモデルによって異なります。一部のシスコアクセスポイントにはこの機能はありません。

ステップ8:[Save]をクリック**して設**定を適用します。



これで、ワイヤレスアクセスポイントのポート設定が正常に設定されました。